

# 課題解決に向けた行動計画

## スマイル★湖北

～今あるものをさらに活用しよう～

2022年度  
地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

### 【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
市立長浜病院 呼吸器外科	田久保 康隆 (医師)
市立長浜病院 地域医療連携室兼がん相談支援センター	河野 真弓 (看護師)
市立長浜病院 地域医療連携室	玉井 恵美 (看護師)

## ① 選定した地域の課題

- 定期的に地域連携に関する会議や事例検討会を開催しているが、在宅緩和ケアに関して協議されているか不明。  
また、参加者が限られており、顔のみえる関係性が築きにくくなっている。  
地域の緩和ケアの現状と問題点に対して、共有と検討ができていないか不明。
- 在宅、介護施設等移行支援後のフォローアップや地域からのフィードバック体制がなく、支援の評価ができない。
- 入退院に関する病院とケアマネとの既存ルールが守られていない事があり、情報連携不足のときがある。

## ② どんな地域を目指すのか

- がんになっても、患者や家族が望む医療や介護を提供できる地域にしたい

### ③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

#### 目標：

- ① 今ある会議等を活用し、顔のみえる関係性をつくる。
- ② 地域で、在宅緩和ケアの現状と問題点を共有する。
- ③ 入退院に関する病院とケアマネの湖北ルールを守り、医療や介護がそれぞれの役割を果たし、円滑な入退院支援ができる。

## ④ 具体的な行動計画 ⑤ 目標達成時期

目標	計画	目標達成時期
① 既存の会議等を活用し、顔のみえる関係性をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖北医師会、4病院地域医療連携担当者会議、湖北圏域看護職連携会議、その他の緩和ケアに関して協議されている会議の概要と参加者を情報収集する</li> </ul>	R5年5月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアに従事している実務者が参加できるか確認し、参加する</li> </ul>	R5年5月
② 医療圏内で地域での緩和ケアの現状と問題点を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で検討されている在宅緩和ケアの現状と課題を確認する</li> </ul>	R5年5月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアに従事している実務者が会議等に参加し、地域の緩和ケアの現状と問題点を情報収集する</li> </ul>	R6年2月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアに関する研修に院内外が多職種参加を勧奨する</li> </ul>	R6年2月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や研修等で在宅緩和ケアに関する事例を提供し、地域の意見を確認する</li> </ul>	R6年2月

## ④ 具体的な行動計画    ⑤ 目標達成時期

目標	計画	目標達成時期
<p>③ 入退院に関して病院とケアマネが湖北ルールを守る事で、必要な情報をタイムリーに提供し、円滑な入退院支援ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4病院地域医療連携担当者会議や院内担当者間等でがん患者の入退院支援に関する問題点を共有する</li> </ul> <p>【ケアマネ側の問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時情報提供書の提供がない場合がある</li> <li>・退院カンファレンスに暫定ケアプランを作成し、情報共有がない場合がある</li> </ul> <p>【病院側の問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院に関するケアマネへの情報提供が不十分なときがある</li> </ul>	R5年5月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療連携室が病棟看護師にルール通り、ケアマネ等に情報連携できる様に指導する</li> </ul>	R6年2月